

新屋鹿嶋祭保存会

第5回定期総会



新政酒造跡地に集結した鹿嶋船の前で太鼓と笛の音が鳴り響く

日 時 平成27年 8月 8日(日)17:00~20:00

会 場 日吉神社会館

《 第二回総会 次第 》

開会のあいさつ	各議題	各議題
議長選出	大高文郎	委員長
会長あいさつ	栗原洋輔	(議長)栗原
議題 1、平成26年度事業報告について	各議題	各議題
議題 2、平成26年度収支決算報告について	各議題	各議題
議題 3、会計監査報告	栗原洋輔	各議題
議題 4、平成27年度事業計画案について	研太郎	各議題
議題 5、平成27年度予算案について	栗原洋輔	各議題
議題 6、役員改選について	門入	各議題
議題 7、その他	吉川義夫	各議題



総会終了後、引き続き懇親会を行います。会場づくりにご協力下さい。

鹿嶋祭保存会役員体制

平成27年4月1日

役職名	氏 名	町内会
会 長	海風敏夫	下表町
副会長	鈴木富夫	愛宕町
副会長	富田 潤	十條団地
総務(事務局)	藤枝隆博	大川町
総務(会計)	大塚正一	緑 町
理 事	赤坂光一	日吉神社(責任役員)
理 事	斎藤政雄	日吉神社(責任役員)
理 事	田中敬悦	栗田養護学校
理 事	小島初男	緑 町
理 事	川田直政	北新町
理 事	君川誠一	南新町
理 事	高橋大和	閑町
理 事	富野勝輝	愛宕町
理 事	阿部民樹	閑町後
理 事	大門金美	日の出町
理 事	佐藤勇吉	比内町
理 事	岡田徳美	沖田町
理 事	石田 元	南団地
理 事	遠藤一紀	田尻沢
理 事	今野周次郎	高美町
理 事	高橋昭一	駅前町
理 事	高橋 伸	上表町
理 事	子吉弘光	中表町
理 事	高橋 勝	十條団地
理 事	藤田友好	市営住宅
理 事	赤沼 侃	下表町
理 事	狩野紀男	大川町
理 事	佐々木忠善	笠 町
監 事	渡辺憲一	笠 町
監 事	小野良治	愛宕町

はじめに

新屋の鹿嶋祭りは、豊作を祈る鹿嶋信仰に由来し、古くは、さなぶりの時に行われていましたが、やがて端午の節句に、近年は6月第2日曜に、全町挙げて子供の成長を祈るお祭りとして伝承されてきました。

子供らの無病息災を託した鹿嶋人形を乗せた鹿嶋船は、笛や太鼓の囃子と共に、鹿嶋の唄を口ずさむ子供と沿者の手に曳かれ日吉神社でお祓えを修め、町内を練り歩いたのち雄物川に流され、子供らは清く、明るく、その心身を更新するといわれたことから「鹿嶋流し」とも呼ばれ、神と人、親と子の心の絆を結ぶ、かけがいのない新屋町の文化的遺産です。

鹿嶋祭保存会の事業目標のひとつであった「模範的な鹿嶋船」が完成し、西部市民サービスセンターのご理解とご協力で展示されています。鹿嶋船の作製にあたり喧々諤々の意見交換の末に、鹿嶋船のデザイン画を基に設計図が出来上がり、平成26年8月中旬から本格的に制作着手し、約1か月半の時間を費やし完成させたものです。

平成26年度ウェスター祭りから当センター2階フロアに展示されていますが、実物の1/2ほどの大きさではあるが、簀船、舟べりにはガジキが巻かれ、中央には「鹿嶋丸」と縫い付けた帆が張られ、お堂がどっしりと安置され、舟の舳先には黒いもくが垂れ下がっています。船上には笹餅をかけた鹿嶋人形が所狭しと顔が並んでいます。鹿嶋船後方には鹿嶋太鼓が整然と並び、見上げると鹿嶋大明神が仁王立ちしています。展示場の鹿嶋船のぐるりには、鹿嶋祭の由来や解説パネルが設けられており、会場の一角は「鹿嶋祭の世界」を醸し出しています。

鹿嶋船の制作にあたりご尽力された保存会会員、協力していただいた団体、織、個人の皆様に改めて謝意を申し上げます。

さて、関町町内会を当番町に栗田養護学校と20町内会の鹿嶋船が参加し、今年も初夏の爽やかな日差しと清々した風そよぐ天候のもと鹿嶋祭が催行されました。お祈りを終えた鹿嶋船は「鹿嶋祭PRイベント」会場の新政酒造跡地に集結し、同跡地を舞台に「鹿嶋船の大集合」が実現し、一斉に鳴り響く鹿嶋太鼓が参加者の気持ちを熱くしました。

秋田市は、「公立美術大学を活かしたあらやのまちづくり」提言を基に、地域の活性化を図るために新政酒造跡地にガラス工房など備えた新しいまちづくり拠点づくりを提案しています。

新屋振興会、新屋商店会、鹿嶋祭保存会、栗田養護学校、秋田公立美術大学などが協賛団体として新政酒造跡地活用推進協議会が結成され、協働してイベント企画をしながら同跡地を拠点としたまちづくりを後押ししていくイベントが開催されました。

7月25日に行われた第2回目「あらや水祭り」は、新屋の「湧き水」にこだわった賑わいづくりとして、新屋の地域住民と美大生が一体となったイベントであり、他に例をみない新屋地区独自の取り組みとして注目されています。

鹿嶋祭保存会が発足して4年が経過しようとしていますが、発足から鹿嶋船制作まで陣頭指揮を執っていた故伊藤富美雄前会長のご意志を引き継ぎ、事業部、制作部、調査研究部、実技部、広報部の5部会を活動の柱に据えながら、今後とも活動を展開してまいります。

平成26年度活動の軌跡

《平成26年》

7月27日	第4回定期総会	日吉神社会館
8月7日	「あらや水祭り」総括会議	ウェスター
8月14日～9月21日	「模範的鹿嶋船」の制作着手	高美町内会館
8月22日	第3回鹿嶋船制作員会	ウェスター
8月29日	第3回鹿嶋船制作委員会	ウェスター
9月20日	会報「鹿嶋さん」第9号発行	全町内会回覧、日吉神社、ウェスター掲出
9月22日	模範的鹿嶋船完成及びご祈祷	高美町内会館及び日吉神社
10月6日	第14回事業部会	ウェスター
9月24～25日	ウェスター祭り展示物制作会議	駅前町会館
10月26～28日	ウェスター祭り写真展	ウェスター
10月21日	制作委員会（パネル制作会議）	ウェスター
11月12日	三役各部長副部長会議	ウェスター
11月14日	鹿嶋船制作委員会解散式	ウェスター
12月1日	伊藤富美雄氏ご逝去	
12月18日	緊急三役会議	ウェスター

《平成27年》

1月1日	会報「鹿嶋さん」10・元旦号発行	全町内会回覧、日吉神社、ウェスター掲出
1月10日	新屋振興会新年会	ウェスター
1月23日	三役・各部長副部長会議	ウェスター
2月9日	第15回事業部会	すずらん
2月10日	制作部会	ウェスター
2月15日	第4回全体会議	ウェスター
2月25日	新政酒造跡地活用推進協議会第9回役員会	ウェスター
3月6日	実技部会議	ウェスター
3月16日	新政酒造跡地活用推進協議会協議会三役会議	ウェスター
3月28日	太鼓の練習日	日新小学校体育館
4月6日	新政酒造跡地活用推進協議会第2回総会	ウェスター
4月28日	第9回広報部会議	ウェスター
5月2日	鹿嶋祭当番町（閑町）打ち合わせ会議	ウェスター
5月12日	第10回広報部会議	ウェスター
5月15日	第11回広報部会議	ウェスター
5月23日	鹿嶋祭全町代表者会議	ウェスター
6月3日	新政酒造跡地活用推進協議会第3回役員会	ウェスター
6月16日	新政酒造跡地活用推進協議会第4回役員会	ウェスター
6月22日	第16回事業部会	ウェスター
6月23日	あらや水祭り実行委員会	ウェスター
6月14日	鹿嶋祭及び新政酒造跡地PRイベント	日吉神社会館
7月1日	あらや水祭りポスター制作会議	ウェスター
7月10日	第3回理事会	ウェスター
7月14日	あらや水祭りポスター会場設営会議	ウェスター
7月21日	あらや水祭り実行委員会	ウェスター
7月25日	第2回あらや水祭り	新政酒造跡地及び旧渡邊幸四郎邸

議題 1、平成26年度事業報告について

(1) 「模範的な鹿嶋船」の制作と展示活動について

- ① 「模範的な鹿嶋船の制作委員会」を平成26年3月16日の第9回三役部会長合同会議で立ち上げが確認され、制作委員長國安明氏が選出され、制作委員会部員ほか会員から選出された。
- ② 平成26年5月10日、第1回鹿嶋船制作委員会が開かれ、(1) 模範的な鹿嶋船のモデルとして国立民族歴史博物館所蔵の「新屋鹿嶋船の写真」と「図面」を入手、(2) 舛谷博英氏の鹿嶋船のデザイン画を作成提供していただく、(3) 鹿嶋船の展示可能な場所としてウェスターに交渉を重ね、ウェスター2階フロアを貸していただくことにし、鹿嶋船の大きさを実物大の約1/2にすることとした。
- ③ 平成26年7月8日、第2回鹿嶋船制作委員会が開かれ、鹿嶋船の具体的な討議が進められ、(ア) 制作図の作製、(イ) 制作用材と量、費用見積もり、(ウ) 地域づくり交付金申請手続き、(エ) 制作工程と作業方法などについて協議し、完成時期を平成26年9月26日～28日ウェスター祭りに間に合うよう完成を目指すことにした。
- ④ 平成26年7月27日 第4回鹿嶋祭保存会定期総会が開催され、制作委員会の方針が提起し承認され、制作委員会を中心に鹿嶋船の完成に全力を傾注することとした。



- ⑤ 8月14日～22日間、高美町町内会館において設計図制作者舛谷博英氏の立ち合いの下、制作委員会部長、副部長、保存会会长、造船担当の斎藤澄夫氏、場材担当の大島勝美氏、帆柱担当の武藤富夫氏らが集まり鹿嶋船の制作を開始した。
- ⑥ 鹿嶋船に登載する鹿嶋人形の「頭部・顔」部首は藤枝隆博総務と美大生、「鹿嶋大明神」は金澤國太郎氏、「お堂」は武藤富夫氏、「帆」はウェスターで活動しているソーイングサークルに縫製を依頼するなど作業が進行していった。鹿嶋人形と短冊は各町内会から提供していただいた。
- ⑦ 仕上げのガツギ巻きを9月21日、9月22日には完成し日吉神社にてご祈祷を

受けた。

(2) 展示活動と今後について

- ① 平成26年9月26日から始まったウェスター祭りでは鹿嶋祭保存会制作の鹿嶋船がひとりわ来客者を楽しませました。
- ② 「模範的な鹿嶋船の制作」は、一応の完成をみたことから平成26年11月14日鹿嶋船制作員会の解散会を開催しました。

議題1 「模範的な鹿嶋船の制作」の総括について

- (1) 鹿嶋船制作委員会の総括文（國安明部長報告）
- (2) 鹿嶋船制作に関する収支報告（大塚正一会計）
- (3) 地域づくり交付金に関する報告（高橋伸広報部長、交付金担当）

議題2 今後の保存会活動について

- (1) 「模範的な鹿嶋船制作の総括的報告」について

① 鹿嶋船制作委員26名の奮闘を保存会会員に報告活動

- ・ 平成27年2月に「全体会議」を開催し、鹿嶋船制作事業を保存会全体に報告する。
- ・ 「全体会議」では、調査研究部から研究発表の機会を設ける。
テーマ「新屋鹿嶋祭のルーツについて」
(発表者：金澤國太郎調査研究部副部長)

② 鹿嶋船の制作について、次の方法で広報活動する。

- ・ 「鹿嶋さん」ニュースの発行、回覧
- ・ 鹿嶋祭保存会HPの公開、閲覧

③ 鹿嶋船制作に関する資料の整理

- ・ 会議資料、設計図案と展示後（現状）の図面整理
- ・ 国立民族博物館、県立博物館、県内図書館への寄贈保存

(2) 展示活動の今後の目標について

- ① 前項目の鹿嶋船の展示場の点検、修繕と写真データ整理と管理。
- ② 舛谷博英氏作成の「模範的鹿嶋船のイラスト図」を展示場所に掲額。
額(木枠)については大島勝美会員から作成すると申出があった。
- ③ 2階展示場に鹿嶋船に関する解説用モニター、デッキ(DVD放映)を準備するため、次年度の「地域づくり交付金」を申請する。広報部と取り組むこととする。

議題3 今後の各部活動について

(1) 事業部

事業部会会議及び新年会 平成27年1月19日（すずらん）

平成27年度計画立案

(2) 広報部

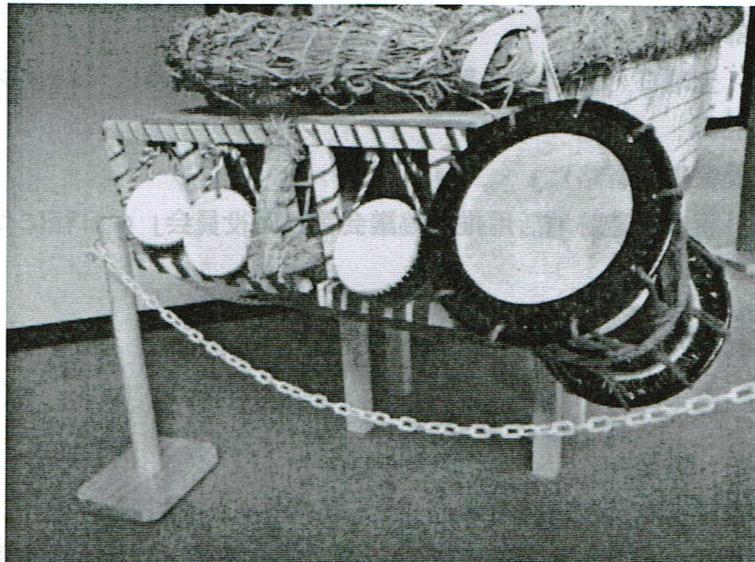
「鹿嶋さん」ニュースの発行（鹿嶋船制作と講演会ご案内）

HPの更新

(3) 調査研究部

調査研究の成果として全体会議で、「鹿嶋祭のルーツ」発表準備

- (4) 制作部
鹿嶋船の展示場の改善、保存点検活動、
鹿嶋船制作に関する資料、データ整理、保存活動
- (5) 実技部
来年の太鼓、歌の実技指導



(2) 第4回会員全体会議について

日時 平成27年2月15日（日）15時～18時
会場 ウエスター

- 討議内容
- 【発表 1】 「模範的な鹿嶋船の制作」の経過報告と今後の展示活動について
 - ・ 鹿嶋船制作制作委員長 國安 明 氏 の報告
 - ・ 鹿嶋船制作にかかる「地域づくり交付金」の収支報告

会計担当 高橋 伸 氏

國安明氏の報告は、(1)「模範的な鹿嶋船」の制作と展示活動についてと重複するので省力する。

【発表 2】 調査研究部特別報告「新屋に伝わる鹿嶋祭りの由来について」

- ・ 調査研究部副部長 金澤 國太郎 （以下は発表の抜粋）
- ・ 新屋の鹿嶋まつりは、350年以上も続く「子供たちの健やかな成長と町民の息災安全を祈る」全町民が挙げて参加する郷土的一大祭典である。
- ・ これほど子どもたちに愛され、賑やかで見応えのある郷土の誇るべき伝統行事が、公的機関より未だに民族・芸能文化財的な価値を認めてもらえない課題。
- ・ 祭事の執行が各町内会ごとの持ち回り当番制で行われて、鹿嶋船の飾り付けやお囃子、巡航順路等がまちまちで、統一性に欠ける点を指摘。
- ・ この行事の歴史背景や意味合いを検証し、継続的に伝え得る場(方法)がなかったからにはかならない。

・今こそ全町民こぞってこの問題を取り上げ、意義・認識を共有することでより良い鹿嶋祭りの形態を模索すべき時期と考えるものである。(鹿嶋祭保存会の存在意義)

【発表 3】 各部会からの報告

- ① 事業部会 (2/9 事業部会報告)
- ② 制作部会 (2/10 制作部会報告)
- ③ 調査研究部会
- ④ 実技部会
(3/28 土曜日 10時 日新小体育館 太鼓の練習日 参加町内会)
- ⑤ 広報部会
- ⑥ 事務局報告 (省略)

「新政酒造跡地活用推進協議会第9回役員会」の日程について

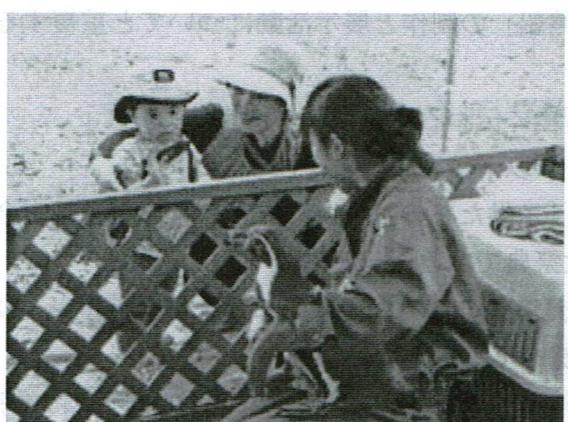
(3) 平成27年度鹿嶋祭について

(1) 「鹿嶋祭PRイベント」について

日時 平成27年6月14日(日) 9:00~12:30

場所 日吉神社及び新政酒造跡地

6月14日、関町を当番町に新屋の伝統行事である鹿嶋祭が行われました。日吉神社には様々な鹿嶋人形と登載物で飾られた20町内会、栗田養護学校の鹿嶋船が参拝に訪れ見物の人々を楽しませました。「ショッツ、ショッツ、ショー、寺の陰まで送るまでショー」と太鼓にあわせて元気な子供らの声が新屋のまちに響き渡りました。参拝をすませた各町内の鹿嶋船は、「鹿嶋祭PRイベント」会場である新政跡地に集結し新屋商店会、秋田美大学生、栗田養護学校「くりの木」が準備した湧き水を使用の飲料水、新屋カルピスが振舞われました。今年は大森山移動動物園が設けられ、ひよこ、ペンギン、ヘビなどの触れ合いコーナーが登場し、家族連れの見物人を喜ばせました。



大森山移動動物園は子供たちで大いに盛り上がった

(4) 「あらや水祭り」について

日時 平成27年7月25日(土)

15:30~20:00

会場 新政酒造跡地及び渡邊幸四郎邸

主催 新政酒造跡地活用推進協議会

構成団体：新屋振興会・新屋鹿嶋祭保存会・新屋商店会・秋田県立栗田養護学校・あらやちやぶちやぶ大学・あらら家プロジェクト]

協賛：新屋街路灯組合・秋田市西部工業団地雄渾会、(株)ナイス、ルーテル愛児幼稚園 後援：秋田市西部市民サービスセンター・秋田市総合振興公社 ポスター・チラシ制作：佐藤来美・津曲由美・鈴木寿世(あらら家プロジェクト)

題字：高島智柳

イベント内容

(1) 湧水の郷の打ち水パレード

新屋表町通りの皆さん、来場者の皆さんと秋田公立美術大学の学生が協力して、祭りの始まりを飾る湧水打ち水パレードを行います。

(2) 湧水の郷のステージパフォー

マンス

フラダンス、ロックダンス、秋田ベンチャーズ、KD1(ジャズセッション)、新屋竿燈会、カウンセラーズ(市役所・美大職員G Sバンド)、川崎勉(ギター)ほかの皆さんによるパフォーマンス。合間に流しそうめんなどのアトラクション。

(3) 豊岩地区の朝採り野菜のマーケットや、芸術の里づくりを進めている河辺・雄和地区的アーティスト、公立美大の学生の皆さん、クラフトマーケット。

各ブースでお買い物していただいた方には、秋田公立美術大学の小牟禮教授(ものづくりデザイン専攻)が制作したグラスプレゼント。

(4) あらやde ものづくり体験 [渡邊幸四郎宅内]

あらら家プロジェクトの皆さんにより、湧水にちなんだ「うちわづくり」を体験するワークショップ。

河辺地区で秋田らしさを追求した陶芸工房「不銹窯」を構える杉本紀一郎さんによる陶芸体験教室。

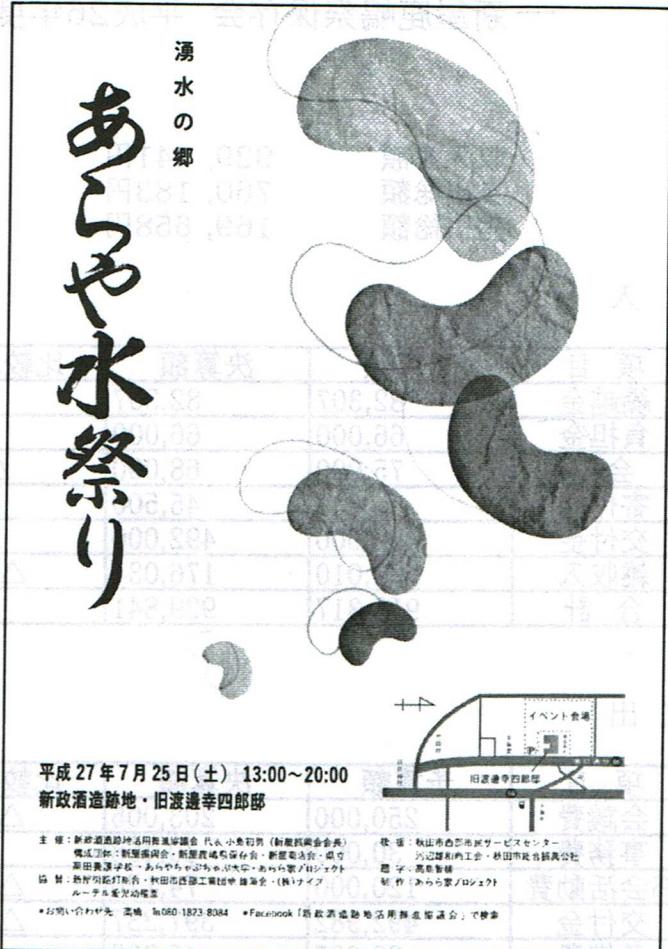
(5) あらやde キャンドルナイト

あらやの未来に思いを馳せ、みんなであかりを灯しましょう。

(6) 湧水を使用した飲みもの

あらやちやぶちやぶ大学・公立美大の小牟禮教授の連携により、新政酒造跡地の湧き水を利用した数種の飲み物を販売。

また、秋田県立栗田養護学校の皆さん、「喫茶くりの木」を開店。湧き水を利用したかき氷、冷たい飲み物、焼きそば、枝豆、玉こん、作業製品などの販売。その他、ビール、焼き鳥、餃子など。



議題 2、平成26年度収支決算報告について
—新屋鹿嶋祭保存会 平成26年度 決算書—

平成26年7月1日～平成27年6月30日

収入総額	929, 841円
支出総額	760, 183円
差引総額	169, 658円

収入

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	82,307	82,307	0	
負担金	66,000	66,000	0	3000円×22
会費	75,000	68,000	△7,000	1,000×68
寄付金	0	45,500	45,500	新屋郷土会より
交付金	492,000	492,000	0	
雑収入	200,010	176,034	△23,976	懇親会会費、利子等(16円、18円)
合計	915,317	929,841	14,524	

支出

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	250,000	203,005	△46,995	総会費、理事会等
事務費	30,000	40,468	10,468	印刷、通信等
部会活動費	120,000	74,170	△45,830	DVD作成、会報等
交付金	492,982	397,237	△95,745	鹿嶋船作成
予備費	22,335	45,303	22,968	鹿嶋祭当番町へのお祝酒、香典等
合計	915,317	760,183	△155,134	

総収入:929, 841円－総支出:760, 183円＝残金169, 658円(次年度への繰越金)

残金内訳:預金93, 972円、現金75, 686円

議題 3、会計監査報告

—平成26年度 会計監査報告書—

平成27年7月3日、鹿嶋保存会の関係諸帳簿及び貯金通帳等証拠書類について監査の結果いづれも適正に処理されていることを認めます。

新屋鹿嶋保存会会計監事

小野良治
渡邊寛一

平成27年7月3日。

鹿嶋保存会
会長 海風 敏夫 殿

議題 4 平成27年度事業計画について

鹿嶋市会議事録

月	行事・会議
7	・あらや水祭り
8	・全町鹿嶋祭写真収集取組(ウェスター祭り準備) ・広報誌「鹿島さん」ニュース発行 10/9(金)～11(日)
9	・ウェスター祭り準備
10	・ウェスター祭り展示(今年の鹿嶋祭写真、あらや水祭り写真、その他資料展)
11	・鹿嶋祭講演会・座談会
12	・会報原稿準備・全体会議準備
1	・広報誌「鹿島さん元旦号」ニュース発行 ・新屋郷土町内会新年会(東京)・HP配信
2	・第5回会員全体会議(各部会活動報告、新春講演会、その他)
3	・鹿嶋祭「太鼓と歌」の練習(日新小学校体育館)
4	・鹿嶋祭当番町との打ち合わせ懇談会 ・「鹿嶋祭イベント」新政酒造跡地活用推進協議会協議との協議
5	・鹿嶋祭準備開始(5月下旬～6月第二日曜日)
6	・平成28年度鹿嶋祭(6月12日) ・第4回理事会 ・新政酒造跡地活用推進協議会「あらや水祭り」(仮称)協議 ・第6回定期総会

鹿嶋祭保存会事業部 「平成26年度まとめ」

事業部長

小島 初男

平成26年度活動報告

- ・平成26年7月26日 あらや水祭り協賛
- ・平成26年7月27日 新屋鹿嶋祭保存会第四回定期総会に出席
- ・平成26年10月6日 第14回事業部会議
 縮小版鹿嶋船の制作・収支・展示について
 鹿嶋祭写真等のウエスター祭出展結果について
 趣向を変えた座談会等今年度の開催について
- ・平成27年1月23日 三役・各部長副部長合同会議に出席
- ・平成27年 2月9日 第15回事業部会議
 三役・各部長副部長合同会議報告
 今後の活動について 会議後新年会懇親
- ・平成27年2月15日 第4回全体会議に出席
- ・平成27年6月22日 第16回事業部会議
 講演会について
 新屋の昔の鹿嶋祭の録音取材について
 他の地域の鹿嶋祭関係者を招いての録音取材について

平成27年度活動計画

- ・平成27年7月10日 第2回理事会に於いて8月8日総会（案）予定日に齋藤壽胤 氏に1時間位の講演を打診中の趣旨を提案・説明予定（高橋伸広報部長に依頼）。
- ・新屋の昔の鹿嶋祭の録音取材は議事から取り下げる決定。
- ・秋田県内等のまだ集めていない鹿嶋祭資料等の収集と見学取材について
- ・祭当日の取材は受けているが、祭当日までの1か月余の準備と各町内紹の広報について
- ・人手不足少人数町内の加勢に美大生を割り振る巻き込み作戦について
- ・その他

☆制作部会 平成26年度 活動報告

(大)日吉上原の文化財

本企画は、会員の皆様の協力によるものである。

（大）日吉上原の文化財

平成26年8月14日(木)

高美町町内会館を作業場として、柴田茂男制作副委員長と齋藤澄夫委員を中心に、舛谷博英制作委員の製図に基づく1/2新屋鹿嶋船の制作着工。

（大）日吉上原の文化財

（大）日吉上原の文化財

8月22日(金)

新屋鹿嶋船の船体とその主要部分完工。

引き続き

「武者人形」については、金澤國太郎保存会調査研究部長が制作。

「お堂」については、武藤富夫制作委員が制作。

「帆」については、秋田市西部市民サービスセンターで活動する「ソーイングサークル」が制作。

「鹿嶋人形」と「天筆」については、各町内が制作。

（大）日吉上原の文化財

（大）日吉上原の文化財

9月21日(日)

8時30分、制作委員で高美町町内会館にて「新屋鹿嶋船」に「ガツギ」取り付け作業、同日完工。

「お堂」と「帆」完成。

「鹿嶋人形と天筆」については、各町内から西部市民サービスセンターに届く。

午前、新屋鹿嶋船を高美町町内会館から「日吉神社」に運搬。金澤國太郎調査研究部長制作の「武者人形」が届く。仕上げ作業施行。

1/2新屋鹿嶋船完成。

午後2時、新屋鹿嶋祭保存会関係者が出席し、日吉神社に於いて神事(お祓い)催行。

午後3時、新屋鹿嶋船を「日吉神社」から西部市民サービスセンター2階展示場へ搬入。

9月26日(金)～28日(日)

ウエスター祭り展示。以降、同場所で展示中。

10月6日(月) 午後6時、新屋鹿嶋祭に關係する、説明版作成について関係者会議開催。

10月21日(火) 午後6時 同上について、関係者会議再開催。

10月末 鹿嶋祭りに關係する説明版完成、設置完了。

11月14日(金) 新屋鹿嶋祭制作委員会解散会。

平成27年2月10日(火) 午後6時、西部市民サービスセンターに於いて
2月15日開催される新屋鹿嶋祭保存会・会員全体
会議の概要と、制作部会の今後の取り組みについて、
を議題として制作部会議を開催。

2月15日(日) 午後4時、西部市民サービスセンターに於いて新
屋鹿嶋祭保存会・会員全体会議が開催され、制作委
員長が「模範的な鹿嶋船の制作」についての完成ま
での経過を発表。

引き続き

鹿嶋船制作にかかる「地域づくり交付金」の収
支について、高橋伸保存会広報部長から報告し、
了承された。

また、調査研究部特別報告として、金澤國太郎部
長が「新屋に伝わる鹿嶋祭りの由来について」発表。

3月 新屋鹿嶋祭保存会幹谷博英制作委員の新屋鹿嶋
船イラスト図と1/2鹿嶋船制作前図面と完成図面を
掲額展示。

6月 秋田公立美術大学生制作の、平成27年度新屋
町鹿嶋祭の写真パネルと、また、年度毎(平成25、
26、27)の「新屋鹿嶋祭」ポスターを展示。

☆ 制作部会 平成27年度 活動計画

平成27年2月10日開催の保存会制作部会において、平成27年度は、以下
を活動計画とすべきとした。

- 1・ 新屋鹿嶋船展示場の点検と管理。
- 2・ 新屋鹿嶋祭時の町内から提供される写真データ管理と整理。

◆広報部会 平成26年度 活動報告

▼ホームページの運用

- ・会議やイベントが行われる度に更新。

▼「鹿嶋さんニュース」を発行

- ・第9号：平成26年9月20日 *鹿嶋祭本番・鹿嶋祭PRイベントを紹介

*カラー見開き4ページ(交付金使用)

- ・第10号：平成27年1月1日 *ミニ鹿嶋船完成

*カラー2ページ(交付金使用)

▼平成27年4月28日(火) 第9回 広報部会 開催

- *ポスターのデザインについて協議

▼平成27年5月12日(火) 第10回 広報部会 開催

- *ポスターのデザインを検証

▼平成27年5月15日(金) 第11回 広報部会 開催

- *ポスター・チラシ同時発注

▼「新屋鹿嶋祭」のポスターとチラシを配布

- ・A2ポスター 200枚 *4/23の鹿嶋祭全町打合せ会で配布

- ・A4チラシ 1,500枚 *裏は同時開催の鹿嶋祭PRイベント

*県庁記者クラブに投げ込み

- *発注先：秋美のあらら家プロジェクトを通じて、オンラインで発注

- ・今年は、新政酒造跡地活用推進協議会の交付金で作成

▼地域づくり交付金は、準備不足により見送り

◆広報部会 平成27年度 活動計画

▼ホームページの運用

- ・年度替わりにより、各部の画面を一新。

- ・会議やイベントが行われる度に更新。

▼「鹿嶋さんニュース」を発行

- *今年も、必要に応じて全町内回覧をしたい。

▼マスコミに売り込む

- *具体的なイベントが有るときに、チラシを作って県庁記者クラブに投げ込む

▼「新屋鹿嶋祭」のポスターとチラシを作成

- *秋美のあらら家プロジェクトに製作してもらう。

新政酒造跡地活用推進協議会の交付金になるかも？

~~ 以上 ~~

議題 5、平成27年度予算案について

— 新屋鹿嶋祭保存会 平成27年度 予算書 —

平成27年7月1日～平成28年6月30日

項目	前年度決算額	今年度予算額	比較増減	備考
繰越金	82,307	169,658	87,351	
負担金	66,000	66,000	0	
会費	68,000	70,000	2,000	1000円×70名
寄付金	45,500	0	△45,500	
交付金	492,000	0	△492,000	申請せず
雑収入	176,000	190,050	14,050	利子、懇親会会費等
合計	929,807	495,708	△434,099	

支出

項目	前年度決算額	今年度予算額	比較増減	備考
会議費	203,005	260,000	56,995	総会費、理事会等
事務費	40,468	60,000	19,532	印刷、通信等
部会活動費	76,170	120,000	43,830	講演会、ウェスター祭、会報等
交付金	397,237	0	△397,237	
予備費	45,303	55,708	10,405	
合計	762,183	495,708	266,475	

議題 6、役員改選について

(1) 会長及び副会長について

前伊藤富美雄会長の死去に伴い平成26年12月18日開催の「緊急三役会議」で以下の内容を確認してきた。

1. 鹿嶋祭保存会副会長海風敏夫氏を会長代行に決定する。
2. 海風敏夫副会長が会長代行となり、副会長に欠員が生じたことから鈴木富夫氏を（実技部長）を副会長に選出した。
3. 平成27年1月19日事業部会会議、1月23日三役・部長副部長合同会議及び平成27年2月15日全体会議で、会長代行及び副会長に関する内容について説明し、承認を得ることとする。
4. 平成27年度第5回定期総会で、海風敏夫氏会長代行を会長として、鈴木富夫氏を副会長にそれぞれ正式に決定する。
5. 「地域づくり交付金」（鹿嶋船制作）の代表者を「海風敏夫」で届出する。

(2) 理事について

1. 会則5条 「役員」(4) 理事 若干名とある。
2. 鹿嶋祭保存会では、日吉神社責任総代、町内会会长（鹿嶋祭参加町内会）ならびに栗田養護学校から理事として選任してきた。
3. 各組織は時期を異にして総会等で選出されることから、新しい役員が交代した時点から鹿嶋祭保存会理事として、前任者の残余期間を引き継ぐこととする。次期の総会で承認を得ることとした。
4. 会則の改正は特に行わない。

議題 7、その他